

新発田市有機農業産地づくり推進協議会（新潟県新発田市）

R5補正
R6当初

35

背景・課題

新発田市は、「住みよいまち日本一健康田園文化都市・しばた」を将来都市像に掲げるとともに、コロナ禍による米価下落対策等の観点から、有機JAS認証による農業振興に加え、「オーガニック」をキーワードに、商工業や観光業との連携によるブランドストーリーの構築を目指している。

成果目標と達成状況

- 有機JAS認証面積
(R4) 0.5ha → (R5) 9.5ha → (R10) 14.5ha
- 有機JAS認証者数
(R4) 2名 → (R5) 5名 → (R10) 8名
- 有機JAS認証米輸出量
(R4) 1.8トン → (R5) 10.8トン → (R10) 12トン



新発田市

構 成 員

農業者、JA北新潟、集出荷業者、加工業者、消費者、長岡技術科学大学、新潟県、新発田市

品 目

水稻

取組の成果

生産

- 育苗講習会や除草作業確認会などの技術指導会を実施した他、新発田市有機農業事例集を作成し、栽培技術の向上を図った。
- 堆肥のペレット化に向け、ペレット化適合テストを実施。
- 除草作業軽減を目指し、大学との連携により水田除草ロボットの開発を進めている。

流通

- 協議会と集出荷業者の連携により有機米の海外輸出（10.8トン）を行った。

消費

- 輸出業者との連携により、海外における販路の拡大を図った。
- 新発田産有機米を使用したおにぎりをハワイで販売。



育苗講習会の様子



ペレット堆肥試作品

取組時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月



除草作業の省力化を目指す



首都圏の高校生を対象にスタディーツーリズムを実施



新発田産有機米を使用したおにぎりの販売（ハワイ）



集出荷業者と連携した有機米の輸出

普及に向けた取組

- 除草作業の省力化、収量の向上に向け、除草用ロボットの実用化を早急に進めるとともに、栽培技術等をまとめたマニュアルの活用や研修会の開催等により、新規生産者の確保及び除草対策を含めた栽培技術の向上を図る。
- 担い手等の課題を抱える中山間地域を中心に取組を進め、成功事例を他の地域等へと広げる。
- 観光業との連携により、スタディーツーリズムなどによる誘客を促進し、新発田産有機農業の取組をPRする。

問い合わせ先

新発田市農林水産課生産振興係

TEL : 0254-33-3108